

AV MATERIAL

ニュースクリップ & 映像教材

AV情報

■NEW EDUCATION EXPO 2020 オンライン開催

New Education Expo実行委員会主催により、「学びを拓く、未来を創る。」をテーマに標記イベントがオンラインにより開催される。

<日時>令和2年11月20日(金)・21日(土)

10:00~19:30

<内容>基調講演、特別講演、特別セッション、セミナー「データ活用」「オンライン教育」「プログラミング教育」等。要事前申込。詳細は、下記を参照のこと。<https://edu-expo.org>

<問い合わせ先>New Education Expo実行委員会事務局(株)内田洋行教育総合研究所内

TEL 03-5634-6397

■第22回図書館総合展 オンライン開催

図書館総合展運営委員会主催による標記展示会がオンラインにより開催される。

<日時>令和2年11月1日(日)~30日(月)

10:00~18:00

<内容>展示、ウェブ会議、LIVE中継等。要事前登録。詳細は、下記を参照のこと。

<https://2020.libraryfair.jp/>

<問い合わせ先>(株)カルチャー・ジャパン
MAIL LF@j-c-c.co.jp

■eラーニングアワード2020フォーラム オンライン開催

(一社)e-Learning Initiative Japanほか主催により、「これまでの研修・教育を超えるオンライン時代のあり方」をテーマとした標記フォーラムが

オンラインにより開催される。

<日時>令和2年11月11日(水)~13日(金)9:00~18:00

<内容>講演、セミナー、日本e-Learning大賞表彰等。要事前登録。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.elearningawards.jp/>

<問い合わせ先>(一社)e-Learning Initiative Japan
MAIL info@elearningawards.jp

■第5回関西放送機器展

関西放送機器展実行委員会主催による標記展示会が開催される。

<日時>令和2年12月1日(火)・2日(水)10:00~18:00、2日は17:00まで。

<会場>大阪南港ATCホール(大阪市住之江区南港北2-1-10)

<内容>動画配信、5G・次世代通信、リモート放送機器等の展示。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.tv-osaka.co.jp/kbe/>

<問い合わせ先>関西放送機器展事務局

MAIL kbe@tv-osaka.co.jp

■2021年度共同研究公募

国立情報学研究所では、情報学研究の推進と他学問分野との連携による研究の開拓を進めるため、標記研究の公募を行っている。

<応募要件>国内外の大学・短期大学・高等専門学校及び大学共同利用機関等に所属する研究者並びにそれらに準ずる研究者、大学院生(社会人大学院生に限る)や民間企業等に所属する研究者。

<募集研究と助成>戦略研究公募型(年間上限150万円)、研究企画会合公募型(年間上限80万円)、自由提案公募型(年間上限100万円)。詳細

は、下記を参照のこと。

<https://www.nii.ac.jp/research/collaboration/koubo/>

<申請書提出期限>令和2年12月1日(火)当日消印有効。

<問い合わせ先>国立情報学研究所総務部企画課
社会連携推進室公募型共同研究担当

TEL 03-4212-2139

研究会情報

■第25回(東京2020年)NIE全国大会 インターネット配信

教員と新聞関係者との情報交換の場を提供することを目的に、日本新聞協会(NIE)が主催する標記大会では、「ともに生きる 新聞でつながる」を大会スローガンに全プログラムをインターネット配信する。

<日時>令和2年11月22日(日)13:30~16:20

<内容>開会式、記念講演、日本NIE学会との共同シンポジウム「ウィズコロナ時代にNIEで培う力~ともに生き、つながるための資質・能力」等。要事前申込。なお、令和2年11月22日(日)16:20~ NIE実践発表等の動画をオンデマンド配信。詳細は、下記を参照のこと。

<https://nie.jp/conference/>

<問い合わせ先>日本新聞協会 新聞教育文化部
NIE担当 TEL 03-3591-4410(平日10:00~17:00)

コンクール情報

■「東京ビデオフェスティバル2021」作品募集

NPO法人市民がつくるTVFによる標記フェスティバルでは、映像作品を募集している。

<募集作品>20分以内の作品、ジャンル、テーマは自由。プロ・アマ・年齢・国籍は問わない。詳細は、下記を参照のこと。<http://tvf2010.org/>
<賞>TVF2021アワード、ビデオ大賞ほか。

<締切>令和2年11月30日(月)

<問い合わせ先>NPO法人市民がつくるTVF
TEL 070-4150-2167

■第3回中高生情報学研究コンテスト ポスター発表募集

(一社)情報処理学会では、標記コンテストとして学習成果のポスター発表を募集している。

<応募資格>中学生や高校生、高専生(3年まで)で構成されたチーム(4名以下)。

<募集テーマ>高等学校共通教科情報科、中学校技術・家庭科技術分野「D情報に関する技術」の趣旨に即した分野。詳細は、下記を参照のこと。

<https://www.ipsj.or.jp/event/taikai/83/83PosterSession/>

<賞>中高生研究賞最優秀賞1件ほか。

<締切>令和2年12月25日(金)正午

<問い合わせ先>(一社)情報処理学会 中高生情報学研究コンテスト TEL 03-3518-8373

■第6回全国ユース環境活動発表大会(Web発表大会) 高校生の発表動画募集

全国ユース環境活動実行委員会(環境省ほか)主催による標記大会において、環境活動の発表動画を募集している。

<応募資格>環境活動を実践する高校生等の団体。高等学校、高等専門学校(高等学年)、中等教育学校(4~6年生)の部活動、委員会、有志団体等。環境活動の実践者が高校生であれば可。

<募集内容>日頃取り組む環境活動の「発表動画」(10分以内)を制作する。詳細は、下記を参照のこと。<https://www.erca.go.jp/jfge/youth/challenge/>

<締切>令和2年11月20日(金)18:00

<賞>環境大臣賞、環境再生保全機構理事長賞、国連大学サステイナビリティ高等研究所長賞ほか。

<問い合わせ先>(独法)環境再生保全機構 地球環境基金部 全国ユース環境ネットワーク事務局
TEL 044-520-9505

■「第12回座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル」コンペティション部門 作品募集

座・高円寺ドキュメンタリーフェスティバル実行委員会では、標記部門の作品を募集している。

<応募規定>ドキュメンタリー映画、文化映画、記録映画、科学映画、教育映画、TV番組等。作品尺は問わない。制作年次が過去3年以内(2017年以降に制作)のものに限る。応募形態は、DVD。応募料は、作品1点につき2,000円。詳細は、下記を参照のこと。<http://zkdf.net/>

<賞>大賞 賞金10万円

<締切>令和2年11月30日(月)当日消印有効。
<問い合わせ先>座・高円寺ドキュメンタリー
フェスティバル実行委員会「コンペティション部
門」事務局(株)ドキュメンタリー・ジャパン
TEL 03-5570-3551

学会情報

■日本教育工学会研究会 オンライン開催

日本教育工学会では、「学習支援システム／一般」をテーマに標記研究会をオンラインにより開催する。

<日程>令和2年12月12日(土)

<内容>GIGAスクール構想で示される1人1台のパソコン環境が学校現場で整備され、新型コロナウイルスにより、初等中等教育、高等教育においてもオンライン学習が積極的に行われている。パソコン活用の学びが必須となり、その学びを充実・支援する学習環境システムに関する研究報告発表等。詳細は、下記を参照のこと。

<http://www.jset.gr.jp/study-group/>

<問い合わせ先>日本教育工学会研究会幹事

MAIL study-group-core@jset.gr.jp

各地の情報

■令和2年度 第68回金沢大学附属中学校教育研究発表会 オンライン開催

金沢大学附属中学校では、「Society5.0を主体的に生きるための資質・能力の育成(1年次)－STEAM教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して－」を研究主題に標記研究発表会をオンラインにより開催する。

<日時>令和2年11月22日(日)9:00～12:00

<内容>全体会、教科等分科会、講演会「現代社会に生きるために求められる資質・能力の育成－STEAM教育等の教科横断的な学習の推進－」東良雅人氏(文部科学省初等中等教育局視学官)等。要事前申込。詳細は、下記を参照のこと。

<http://partner.ed.kanazawa-u.ac.jp/>

<問い合わせ先>金沢大学附属中学校 研究主任
服部 TEL 076-226-2121

■若手の先生方の授業力を高める教育セミナー オンライン開催

岡山県教育工学研究協議会では、標記セミナーをオンラインにより開催する。

<日時>令和2年11月28日(土)13:30～15:30

<内容>ミニ講演「力をつける授業をどう創るか」、
教員発表「教科書を活用するということ」「授業改善の楽しみ」「授業を支える学習規律・学級経営」「遠隔授業のすすめ」。先着100名。要事前申込。

詳細は、下記を参照のこと。<http://edu-momo.net/>

<問い合わせ先>岡山県教育工学研究協議会

MAIL info@edu-momo.net

■令和2年熊本県高森町「新たな学び」研究発表会 オンライン開催

熊本県高森町教育委員会、熊本県高森町教育研究会では、文部科学省委託「遠隔教育システムの効果的な活用に関する実証研究事業」の一環として、「Society5.0に対応した資質・能力の育成－主体的・対話的で深い学びを促す学習指導の工夫－」を研究主題に標記発表会をオンラインにより開催する。

<日時>令和2年11月27日(金)10:00～16:20

<内容>公開授業小学校、中学校各3本、講演・
トークセッション、要事前申込。詳細は下記を参照のこと。<http://keit.hungry.jp/takamori/>

<問い合わせ先>高森町教育研究会事務局

MAIL info@tk-edu.net

文部科学省選定作品

■9月選定 紙しばい DVD

「こんやは なつまつり」 12枚<幼稚園／幼児、
教養>(株)童心社

「とちもち もちもち おいしいね」 8枚<幼稚園／
幼児、教養>(株)童心社

「おばけのしんたいそくてい」 12枚<幼児、
教養>(株)童心社

「おばあさんとマンガス」 12枚<少年、
教養>(株)童心社

「城屋の揚松明 火祭りに込めた祈り」 101分<
成人、教養>(株)CNインターボイス関西支社
映像作品等選定一覧の詳細は、下記を参照のこと。
[https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/
main9_a1.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shougai/movie/main9_a1.htm)

※本欄掲載のイベント開催等の最新情報は、主催者<問い合わせ先>に、ご確認ください。

文部科学省情報

令和3年度概算要求について

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

令和3年度文部科学省関係概算要求においては、「新たな日常」、「人生100年時代」や「Society5.0」の到来を見据えながら、日本を誰にでもチャンスあふれる国へと変え、我が国の未来を切り拓いていくために、教育再生、科学技術・イノベーション、スポーツ・文化の振興により、「未来への先行投資」を行う。

文部科学省所管一般会計概算要求・要望額は、対前年度予算比11.5%増の5兆9,155億円。情報教育・外国語教育課の概算要求のうち、情報教育関係の内容は、以下のとおり。

1. GIGAスクールサポーター配置促進事業

53億円

児童生徒1人1台の端末が導入されることにより、学校での使用以外にも家庭への持ち帰りや、オンラインによる学習が行われるなど、学習環境が大きく変化している一方で、学校における導入初期の運用には大きな課題がある。

児童生徒1人1台端末の環境において、災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時でも、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保証できる環境を早急に実現するため、これまで担ってきた調達整備等の学校におけるICT環境整備に加え、オンラインによる家庭学習等を行うための環境を整えるシステムサポート業務等の初期対応を支援するICT技術者の学校への配置経費を支援することにより、1人1台端末の活用を推進する。

2. GIGAスクールにおける学びの充実 4億円

(1) 「ICT活用教育アドバイザー」等による整備・活用推進

教育の質の向上に向けて、全国の自治体における学校のICT環境整備の加速とその効果的な活用

を一層促進するため、学校ICT環境の技術面や調達方法、ICTを活用した指導力の向上などに関する助言などの支援を、専門性を有する有識者を活用して行い、「GIGAスクール構想の実現」の着実な実施及び児童生徒1人1台端末の環境におけるICTの効果的な活用を一層促進する。

(2) 児童生徒の情報活用能力の把握に関する調査研究

言語能力などと同様に学習の基盤となる資質・能力と位置付けられた情報活用能力を定期的に測定するため、小学校・中学校・高等学校等における児童生徒の情報活用能力調査を全国規模で実施する。

(3) 情報モラル教育推進事業

携帯電話・スマートフォンやSNSが子供たちにも急速に普及する中で、児童生徒が、自他の権利を尊重し情報社会での行動に責任を持つとともに、犯罪被害を含む危険を回避し、情報を正しく安全に利用できるようにするため、学校における情報モラル教育は極めて重要である。「GIGAスクール構想の実現」による1人1台端末が整備されることを踏まえ、児童生徒がいつでもどこでも情報モラルについて学ぶことができるよう、e-learningプログラム等の作成を行い、情報モラル教育の着実な実施を図る。

3. 新時代の学びの基盤となる通信環境整備

11億円（新規）

2022年度から希望する学校がSINETを活用できるよう、次期SINETの都道府県のノードに初等中等教育段階向けの設備を整備するなどの準備を行うことで、新時代の学びの基盤となる学校外のネットワークを強化し、GIGAスクール構想におけるICT環境整備とあわせてSociety5.0時代にふさわしい学校のICT利活用を推進する。